

『日米同盟とは何か』本文訂正・補足説明

第7章補 「北朝鮮の核・ミサイル開発と日米同盟」 (倉田秀也 執筆)

1. 168 ページ9行目の見出しに

『五条事態』と『六条事態』の連合」とありますが、これは校正ミスであり、「連合」を「連動」に修正します。

第8章 「東アジアにおける戦略環境の推移」 (梅本哲也 執筆)

1. 173 頁8-10行目に

「東南アジア諸国連合 (ASEAN)、ASEAN地域フォーラム (ARF)、ASEAN+3 (日本、中国、韓国) 等の創設につながった」とありますが、

こちらも校正ミスによる誤りであり、正しくは

「東南アジア諸国連合 (ASEAN) 地域フォーラム (ARF)、ASEAN+3 (日本、中国、韓国) 等の創設につながった」です。

第8章補 「日米同盟 東アジア等 “Sub-region” へのコミットメント」

ー 東南アジアを中心に

(佐藤考一 執筆)

1. 190 ページ15行目に

「在日米軍沖縄の米太平洋海兵隊司令官ヘンリー・スタックポール中将」とありますが、人名については編集者が書き加えたものです。

2. 194 ページ12-13行目に

「海底に沈潜している行方不明の潜水艦を」とありますが、「沈潜」を「鎮座」と読み替えるものとします。

※「沈潜」は、海中に潜水艦が潜没している状態全体をさす表現であり、「鎮座」は、海底に着底している場合のみを指すため。